

令和2年度(2020年度)公共事業再評価調査

基準年月日 令和2年8月1日

調査番号	08-04	所管部	建設部	作成責任者	建設部土木局河川砂防課長 滝田 哲也
				担当係	河川計画係(内) 29-323

I 基本事項(基準日時点)

事業種別	広域河川改修事業費(社会資本整備総合交付金)			地区名	ひつがわ 比布川	市町村名	比布町
事業費	7,292 百万円	負担割合	67%	道	33%	市町村	その他
			4,861 百万円	2,431 百万円	百万円	百万円	百万円

事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●比布川は、石狩川に合流する一級河川で、S56年(1981年)8月、H3年(1991年)9月、H6年(1994年)8月の洪水により、家屋浸水など多大な被害が発生した。 ●このため、H8年(1996年)より比布川の河川改修事業に着手。 ●堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行い、比布町北9線地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止する。 	事業概要 比布川は、石狩川合流点の上流3.7km地点から6.5kmの区間、支川の蘭留川は比布川合流点から2.5kmの区間、合計9.0kmの区間について、堤防の新設や河道の掘削による河積の拡大を行うものである。
	【アウトカム】等 <ul style="list-style-type: none"> ●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある家屋数 86戸 → 0戸 ●改修の目標とする規模の降雨により浸水するおそれのある農地面積 414ha → 0ha 	

総合計画での位置付け	施策名	大規模自然災害対策の推進	総合計画:大項目	生活・安心
	総合計画:中項目	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	総合計画:小項目	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性の克服
	施策目標	防災上重要な公共施設の整備	関連する指標	-

II 公共事業評価経過

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	事前評価又は当初	H8(1996)	H9(1997)				H24(2012)		4,998	1,666	
前回評価		H9(1997)	H27(2015)	H34(2022)		6,340	2,113				
今回評価		H9(1997)	R2(2020)	R6(2024)	24	7,292	2,431	420	6,326	87%	

変更理由・内容	事業費の変更 (1)築堤工に堤防天端舗装を追加したことによる (2)10線橋及び11線橋の架替時に仮橋が必要になったことによる (3)資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による 事業期間の延伸 (1)事業費の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことによる
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> ● S56年(1981年)8月 浸水被害が発生(浸水面積480ha、浸水家屋70戸) ● H3年(1991年)9月 浸水被害が発生(浸水面積128ha、浸水家屋45戸) ● H6年(1994年)8月 浸水被害が発生(浸水面積91ha、浸水家屋35戸)
2. 事業検討の手續(住民ニーズの把握等)	<ul style="list-style-type: none"> ● H7年(1995年) 比布川及び蘭留川について比布町より道に河川改修の要望 ● H7年(1995年) 比布川改修工事促進期成会の結成 ● H8年(1996年) 改修事業に着手
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 比布町北9線地区など 氾濫防止面積517ha(うち農地414ha)、浸水防止家屋86戸

事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容
国営かんがい排水事業(ひつが地区)	国	H15(2003)~H23(2011)	15,000	頭首工及び用水路の改修

IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画														
	施工(工種)区分	工事内容	H8~	9	10	11~	24~	27~	R1	2	3	~	6	進捗状況	事業費(百万円)
	築堤工	L=12,600m					L=10,845m						L=1,755m	85%	1,180
	掘削工	L=9,000m					L=7,231m						L=1,769m	77%	1,922
	護岸工	L=4,650m					L=4,247m						L=403m	93%	676
	附帯工事	道路橋9橋、JR橋1橋等					道路橋6橋、JR橋1橋等						道路橋3橋等	91%	2,163
	測量設計費	調査・設計												94%	1,025
	用地補償費	用地買収・物件補償												85%	326

(2) 進捗状況
 比布川の河道整備が完了しており、現在は堤防天端舗装及び蘭留川の整備を促進している。事業期間の延伸後、事業は概ね予定どおりに進捗しており、今後の事業実施にあたって、特に大きな支障となるものはない。

a	a: 概ね予定どおり実施している。 b: 事業計画(期間)等を変更し実施する。 c: 問題が生じ、実施に支障をきたしている。
---	----------------------------------------------------------------------

2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		B/C	備考
	項目	R2現在	項目	R2現在	R2現在	
	洪水被害防止効果	153,625	建設費	12,134	/	<ul style="list-style-type: none"> ●「治水経済調査マニュアル(案)」(国土交通省R2)に基づき算出 ●効果及び費用は、R2に現在価値化し、「整備期間+完了後50年間」で算出 ●費用は、現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる
			維持管理費	57		
	合計(B)	153,625	合計(C)	12,191		
	前回再評価年度	: H27年度(2015年度)				
	前回再評価時B/C	: 2.17				
	変更理由	: 築堤工に堤防天端舗装を追加したことによる。 10線橋及び11線橋の架替時に仮橋が必要になったことによる。 資材、労務単価の上昇による。 治水経済調査マニュアル(案)が改定され、便益の算定方法等が見直されたことによる。 効果及び費用をR2に現在価値化したことなどによる。				

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組の内容	縮減額(百万円)
	施工の最適化	工事で発生するコンクリート殻をかごマット等の中詰材へ再利用	3

V 評価							
1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 本事業は、比布町北9線地区などの市街地及び農地の浸水被害を防止するためのもの。 ● 事業着手後もH22年（2010年）9月（農地2ha）に浸水被害が発生。 ● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。 						
	a	a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。					
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題						
	<ul style="list-style-type: none"> ● 河道の連続性を確保するため、落差工に魚道を設置している。 ※直近の評価以降の状況変化はない。						
	(2) 事業推進に対する住民の動向						
<ul style="list-style-type: none"> ● 比布町から事業の早期完成に向けての要望が出されている。 							
(3) その他の課題							
<ul style="list-style-type: none"> ● 特になし 							
3. 事業達成の見込み	今後の事業実施にあたっては、特に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。						
	a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。					
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和6年度（2024年度）の完成を目指し、事業継続する。						
	a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止					
事業期間の変更の有無		無	事業費の変更の有無		有	事業内容変更の有無	無
						目的・規模等に係る変更	無
						左記以外の変更	無
VI 備考							
1. 評価履歴	再評価：平成27年度実施 評価結果：継続（変更なし） B/C：2.17						
2. その他の取組事項							

補足資料

VII 事業計画変更							(単位：百万円)			
再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経年数	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
事前評価又は当初	H8 (1996)	H9 (1997)		H24 (2012)	24	4,998	1,666			
変更① 1回目		H9 (1997)	H22 (2010)	H30 (2018)		5,901	1,967			
変更② 2回目			H27 (2015)	H34 (2022)		6,340	2,113			
変更③			H29 (2017)	H36 (2024)		7,166	2,389			
変更④ 3回目			R2 (2020)	R6 (2024)		7,292	2,431	420	6,326	87%
変更⑤										
変更⑥										
変更⑦										
変更⑧										
変更⑨										
変更⑩										
変更理由・内容	変更①：事業費の変更 掘削残土の運搬距離の増、河岸侵食防止のための護岸工の増などによる。 事業期間の延伸 事業費の増額に伴い、残事業の施工期間を精査したことなどによる。 変更②：事業費の変更 橋梁の基礎形式の変更などによる。（直接基礎→杭基礎） 事業期間の延伸 橋梁架替に伴う関係機関協議に時間を要したことのほか、残事業費を精査したことなどによる。 変更③：事業費の変更 築堤工に堤防天端舗装を追加したこと、10線橋及び11線橋の架替時に仮橋が必要になったことによる。 事業期間の延伸 事業費の増額に伴い残事業の施工期間を精査したことによる。 変更④：事業費の変更 資材、労務単価の上昇や消費税率の変更による。									

事業名	広域河川改修事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	比布川	採択年度	H8 (1996)
-----	----------------------------	-----	-----	------	--------------

